お元気ですか
つかじさちのフレッシュ便
第935号
日本共産党高知県議会活動報告ニュース
2020年 2月 9日発行
電話 088−823−9524（議会控室）
088−843−9281（自 宅）

伊方原発は廃炉に

四国4県共産党 四国電力に要請

四国電力伊方原発3号機（愛媛県伊方町）の運転差し止めを命じた広島高裁の仮処分決定（1月17日）を受け、四国4県の日本共産党と県議団、白川よう子衆院四国ブロック比例候補らが31日、高松市の四電本店を訪れ、再稼働を断念し、廃炉にすることなどを求めました。

愛媛県の林紀子委員長、田中克彦県議、伊方町に隣接する八幡浜市の遠藤綾市議、香川県の樫昭二、秋山時貞の両県議、徳島県の山田豊県議、高知県の岡田芳秀県議が申し入れました。

愛媛の田中氏は「廃炉を決断すべきだ」と迫り、香川の樫氏は「危険性を指摘する人と向き合うべきだ」と訴え。徳島の山田氏は「再生可能エネルギーの充実を図るべきだ」、高知の岡田氏は「絶対の安全はない」と述べ、白川候補は「一番の安全は原発を止めることだ」と強調しました。

一行は2017年の広島高裁仮処分決定に続く2度目の運転停止の司法判断であり、真摯（しんし）に受け止めるよう要請。沿岸部至近距離の活断層調査と検証を早急に行うよう国や原子力規制委員会との協議を求めたほか、相次ぐトラブルの原因究明など4項目を申し入れましたが、担当者はいずれにも答えませんでした。

わるがも日記

No 933

暦のうえでは、立春を迎えましたが、この冬の中でもあまり聞こえなかった、「今日は寒いねえ」のやりとりがされる日々です

"寒い"と言えば、今国会での安倍首相の答弁・安倍首相地元後援会員の「桜を見る会」への参加について追及をされ、「広く募っているが、募集はしていない」と答弁。？？？ 異すぎる！

「朝ご飯は食べているが、朝食はとっていないレーズン飯論法？ この人に日本をまかせていいのでしょうか。

四国電力株式会社 社長 長井 啓介 殿

日本共産党愛媛県委員会委員長 林 紀子
同 愛媛県議会議員 田中 克彦
同 香川県委員会委員長 松原 昭夫
同 香川県議会議員団長 樫 昭二
同 徳島県委員会委員長 上村 秀明
同 徳島県議団長 山田 豊
同 高知県委員会委員長 春名 直章
同 高知県議員団長 岡地 佐智
同 四国ブロック国政対策委員長 白川 容子

伊方原発３号機は再稼働を断念し、廃炉にすることを求める申し入れ

伊方原発３号機では電源喪失という深刻なトラブルに発展するなど、県民、国民の不安や怒りが広がっています。到底、運転を容認することはできません。

１月１７日、広島高等裁判所が、伊方原発３号機の運転を認めない仮処分決定をおこないました。２０１７年の広島高裁仮処分決定に続き、同じ原発で、２度目の運転停止の決定がされたのは、高浜原発３、４号機に次ぐものです。真摯に受けとめることが求められると考えます。

「再電は十分な調査をしないまま、原発敷地の至近距離に活断層は存在しないとして原子炉設置変更許可申請をしている。同様ないとした国の原子力規制委員会の判断には過誤ないし欠落がある」「火山の影響想定が過小で、四電の申請と規制委員会の判断は不合理」との判断を示したことは画期的です。地元新聞社説は、「国や事業者は災害大国の日本で原発を動かす責任の重さを改めて肝に銘じなければならない」と指摘しています。

ご承知のように、２０１１年の福島原発事故以来、世論調査でも、再稼働に否定的な声が多数という状況は変わっていません。また、原発維持・廃炉費用が１３兆円をこすと報道されたように、「安くて安定」といった論は現実にも反っていますし、さらに、国民負担が増えることが懸念されます。３度目の運転停止という司法判断を受け、事業者としての主体的な対応を、真剣に検討いただくよう求めるものです。

記

1. 伊方原発３号機の稼働は断念し、廃炉にすること。
2. 司法判断にいたった経過からも、沿岸至近距離の活断層調査の実施、検証を早急におこなうよう、国や原子力規制委員会と協議いただくこと。
3. 定期検査中の３号機での制御棒引き抜きがおこなわれず、１体が引き抜かれたこと及び電源喪失した問題で原因究明し、再発防止を県民、国民に説明すること。
4. 経営方針としても、原発依存から、再生可能エネルギーのさらなる促進、地盤地質のエネルギー政策による地震動評価性への貢献などにこそ、重点をおいていただくこと。

以 上